ご近所のお医者さん

762

中石内科医院　中石滋雄さん　＝大阪市天王寺区

甲状腺眼症

気になるまぶたの腫れ

首の付け根の前側に「甲状腺」という小さな臓器があります。その病気であるバセドウ病になると、目が出てくるというのはよく知られていますが、それだけでなくまぶたが腫れぼったくなる、目つきが変わる、目の動きが悪くなる、というような症状もまた、甲状腺の病気で起きることがあり、これを「甲状腺眼症」と言います。特に大人になってある時期から、目つきや顔の感じが変わったという場合には、甲状腺の病気の可能性をチェックしてみることが大切です。

治療すると、元のスッキリした顔に戻るかもしれないのです。心当たりのある人には、内科で①遊離サイロキシン②甲状腺刺激ホルモン③TSHレセプター抗体④抗サイログロブリン抗体⑤抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体――の5項目の血液検査をお勧めします。このうち、どれか一つでも異常があれば内分泌代謝内科専門医に紹介してもらう必要があります。そこで甲状腺眼症の疑いがあると診断されれば、その医師から甲状腺眼科の専門施設に紹介してもらいましょう。大阪では、大阪大病院・大阪公立大病院・大阪回生病院などが力を入れて取り組んでおられます。

甲状腺眼症は、昔は手術しか治療法がなかったのですが、最近では点滴のお薬ができました。数回の注射で症状が改善することがあります。健康保険が使えますが、ある程度高額になるのがちょっと残念です。また、副作用が出ることもあります。特に、耳が聞こえにくくなる場合があるので、甲状腺専門眼科医の下で気を付けて治療を受ける必要があります。

元バレーボール日本代表選手の鍋谷友理枝さんが甲状腺眼症であることを公表しておられ、アスリートならではのつらさも語っておられます。本人はとてもつらいのに周りから理解されない、甲状腺眼症はそんな病気の一つです。

診断がついて治療がうまくいけば、腫れぼったい目がすっきりして人生が変わるかもしれませんよ。そんなお手伝いができれば、私たちもうれしいです。